

1 学園教育目標	2 本年度の重点目標
みらいへの挑戦 ～Go forward～	①あいさつと歌声が響く学校づくりの推進 ②生徒理解に基づいた生徒指導の実践と自主・自立の気概のある児童生徒の育成の推進 ③義務教育学校の特性を活かし、全職員が目指す方向性を理解し、取り組む学校づくりの推進

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む

3 目標・評価			
① あいさつと歌声が響く学校づくりの推進			
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	担当者
教育活動	○母校の誇りづくり 挨拶と歌声が響く学校	具体的目標 ・行事等で「効果が大きな声で歌う」児童生徒の割合が80%以上を目指す。 ・自ら「元氣よく挨拶をする」児童生徒の割合が80%以上を目指す。	藤浦 鶴田 特別活動部
② 生徒理解に基づいた生徒指導の実践と自主・自立の気概ある児童生徒の育成の推進			
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	担当者
教育活動	●いじめの問題への対応	具体的目標 ・段階に応じた「人権集会」による心の教育と、学校行事や各集会を通して望ましい人間関係づくりを通して自己有用感を高める。	佐伯 永野 生活部
教育活動	○生徒指導の充実	・教育相談や日常の児童生徒との触れ合いを通して、教師と気軽に相談できるという児童生徒が90%以上になるようにする。	松岡 松本 生活部
教育活動	○特別支援教育の推進	・特別支援に関する研修会を実施し、教員の専門性が高まったと感じる割合を90%以上にする。	古藤 石塚 支援部
教育活動	●健康・体づくり	・立腰の意義の理解と啓発を行い、正しい姿勢で学習に取り組む児童生徒の割合を80%以上にする。 ・家族の車による送り迎えを減らし、自転車や歩いて登校する児童生徒の割合を95%にする。	宗 畑 係部
③ 義務教育学校の特性を活かし、全職員が目指す方向性を理解し、取り組む学校づくりの推進			
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	担当者
学校運営	○学校経営基本方針	具体的目標 ・児童生徒、保護者、地域への教育目標の周知を図り、認知度を80%以上にする。	佐伯 永野 総務部
教育活動	●学力の向上	・12月調査において、県平均に対する値を4月調査より3ポイント上回る。 ・家庭学習の習慣化と自主学習の内容の充実を図る。	山口 野田 学習部
教育活動	●心の教育	望ましい集団作り	藤浦 鶴田 特別活動部
教育活動	○海洋教育の推進	主体的に学び、積極的に発信できる児童生徒の育成	佐伯 永野 学習部
学校運営	○開かれた学校づくり	・生活科、社会科、総合的な学習の時間において、地域の方を活用した授業を積極的に実施する。	佐伯 永野 総務部
本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)			
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	担当者
教育活動	◎教育の質の向上に向けたICT活用教育の推進	具体的目標 ・関心意欲を高めるだけでなく、理解を深める活用の推進。 ・研修を通して、活用できると感じる職員を100%にする。	山口 野田 学習部
学校運営	○危機管理	児童生徒の安全を守る取り組みの徹底	佐伯 永野 総務部